

I. 報告事項

- 報告 1 平成 29 年度事業報告の件
  - 資料 1 平成 29 年度事業報告書
- 報告 2 平成 30 年度事業計画の件
  - 資料 2 平成 30 年度事業計画書
- 報告 3 平成 30 年度収支予算書の件
  - 資料 3 平成 30 年度収支予算書

II. 決議事項

- 第 1 号議案 平成 29 年度決算の件
  - 資料 4 貸借対照表
  - 資料 5 正味財産増減計算書
  - 資料 6 財産目録（注記，附属明細書を含む）
  - 資料 7 監査報告書
- 第 2 号議案 役員交代の件
  - 資料 8 平成 30, 31 年度理事及び監事候補

平成 30 年 5 月 25 日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

〒 105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-22  
機械振興会館 別館 102

電話 03-3433-8441  
FAX 03-3433-8442  
E-mail [info@jfps.jp](mailto:info@jfps.jp)

# I. 報告事項

## 報告 1 平成29年度事業報告の件

### 資料 1 平成29年度事業報告

自 平成29年 4月 1日

至 平成30年 3月31日

#### 1-1 事業

##### (1) 集会事業 (企画委員会)

事業名	行事名	期日	場所
総会	第36期通常総会	H29. 5. 26	東京 (機械振興会館)
講演会	平成29年春季フルードパワーシステム 講演会 参加者 108名 論文数 35件	H29. 5. 25 ～5. 26	東京 (機械振興会館)
	第10回JFPSフルードパワー国際シンポジウム 福岡2017 参加者 252名 論文数 166件, 企業展示 14社・17パネル	H29. 10. 24 ～10. 27	福岡 (アクロス福岡・福岡 工業大学)
講習会	フルードパワー道場12「フルードパワーシステムとIoT」 参加 14社・28名	4回開催	東京近郊・他
	フルードパワーシステム特別研修会 登録参加者 8社・8名	計4回開催	東京近郊・他
セミナー	春季講演会併設セミナー 「フルードパワーに役立つセンシング技術」 参加者22名	H29. 5. 24	東京 (機械振興会館)
	平成29年度オータムセミナー 「ロボティクス分野によけるフルードパワー 活用の現状と今後について」 参加者18名	H29. 11. 27	東京 (機械振興会館)
	平成29年度ウインターセミナー 「フルードパワーに利用できるマイコン技術」 参加者19名	H30. 3. 23	千葉 (高度 <sup>o</sup> リテクセンター)
教育講座	入門者向き実習講座「油空圧技術」 参加者12名	H29. 6. 7～6. 9	大阪(ホ <sup>o</sup> リテクセンター関西)
	体験講座「ユネスコ学校」 参加者 73 名	H29. 7. 31～7. 4	栃木 (足利工業大学)
	平成29年度 特別教育講座 「1DCAEに基づくモデルベース開発の基礎 油圧 システムのモデリングの基礎と演習」 参加者14名	H29. 8. 24	東京 (機械振興会館)

##### (2) 研究委員会 (企画委員会・基盤強化委員会)

1. OHC-Sim特別研究委員会 (第20期)  
(委員長 田中 和博, 期間延長; 平成29年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
2. 機能性流体テクノロジーの次世代FPSへの展開に関する研究委員会  
(委員長 中野 政身, 期間延長; 平成29年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
3. 油圧機器のトライボロジーなど基盤技術に関する研究委員会  
(委員長 西海 孝夫, 期間延長; 平成29年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
4. 1DCAEによるフルードパワーシステム設計に関する委員会  
(委員長 田中 和博, ; 平成28年4月～平成30年3月) 3～4回/年開催
5. アクアドライブシステムの新たな構成機器の開発とその制御に関する研究委員会  
(委員長 鈴木 健児, ; 平成 28 年 4 月～平成 30 年 3 月 ) 3～4 回/年開催

(3) 会誌（編集委員会）

	Vol.	No.	発行年月日
会誌「フルードパワーシステム」	48	3	H29. 5. 15
		4	7. 15
		E1	8. 15（電子出版）
	49	5	9. 15
		6	11. 15
		1	H30. 1. 15
	2	3. 15	
発行数	電子出版を含め7回発行， 毎号1, 850部		

(4) 研究論文（論文集委員会）

	投稿論文受付件数	論文集掲載済	掲載待ち	校閲中	返却
H28年度	15	8	5	6	0
H29年度	25	14	10	16	2

(5) 表彰（表彰委員会）

① 平成28年度（一社）日本フルードパワーシステム学会賞授賞者

学術論文賞：

「気液相変化により駆動されるゴム人工筋アクチュエータの製作」

加藤 友規，本田 駿太，程 明昭，櫻木 一樹（福岡工業大学），

大野 学（東京都立産業技術高等専門学校）

技術開発賞：

「平行リンクを利用したコンパクト助力機構」

若杉 諭，稲山 公憲（CKD 株式会社）

技術功労賞：

饗庭 健一（東京計器株式会社）

学術貢献賞

築地 徹浩（上智大学）

中野 政身（東北大学）

最優秀講演賞：

社会人部門；正岡 孝一（川崎重工業株式会社）

学生部門；戸松 匠（東京都市大学），西田 一矢（福岡工業大学）

② 平成28年度 SMC 高田賞：

「樹脂部品を用いた高圧対応ギヤポンプ」

伊藤 貴廣（日立製作所）

③ 平成28年度油空圧機器技術振興財団顕彰：

「DDVC方式燃料噴射装置による船用ディーゼルエンジンの噴射量制御」

眞田 一志（横浜国立大学）

④ 名誉員推挙：香川 利春（東京工業大学）

⑤ フェロー認定：吉田 伸実（株式会社小松製作所）

西股 健一（SMC 株式会社）

1 - 2 会議及び委員会活動

会議名	回数	備考
第36期通常総会	1回	H29. 5. 26開催
理事会	6回	
委員長会議	5回	
評議員会	1回	H29. 3. 26開催
各委員会		
庶務委員会		書面審議
会計委員会		書面審議
編集委員会	6回	
企画委員会	6回	
基盤強化委員会	4回	
論文集委員会		書面審議
出版委員会		書面審議
表彰委員会		書面審議
情報システム委員会	4回	
国際交流委員会		書面審議
国際シンポジウム実行委員会	5回	H29. 4～H29. 12

(1) 会議

理事会

各担当理事からの提案事項、各委員会活動計画・報告内容、基盤強化に関する事項等を審議した。

委員長会議

理事会開催の前月に開催し、各委員会活動の調整及び理事会に諮る議題を検討した。

評議員会

平成 29 年度の評議員会を開催し、学会活動における諸問題について討議した。

(2) 委員会

庶務委員会

事務局職員の給与・賞与の策定、職員の採用、その他適宜施策を策定し実施した。

会計委員会

財務の管理・運営、決算書・予算書等の作成、会計監査等を適宜実施した。

編集委員会

会誌の特集企画立案及び編集作業を実施した。また、会誌掲載記事のロゴ問題や原稿確認マニュアル等を審議した。

企画委員会

講演会、講習会、セミナー等の集会事業を企画し、実施した。また、研究委員会や特別研究委員会等の研究調査事業を基盤強化委員会と連携して企画し、実施した。

基盤強化委員会

学会の会員増強、財務強化のための施策を企画立案し、実施した。また、FP 道場や FP 特別研修会などの研修事業を企画し、実施した。

論文集委員会

論文集への投稿論文の査読等の運営・管理を実施した。また、Web 上で論文投稿・校閲できるシステムによる投稿の受付・査読業務を実施した。平成 30 年 1 月より論文の会誌との併載をやめ、Web 掲載とした。

出版委員会

会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案及び編集を実施した。

表彰委員会

学会賞等の各賞の募集・選考・表彰、名誉員の推挙、他団体の顕彰推薦依頼への対応として推薦を実施した。

情報システム委員会

情報の充実化のための一環として、学会誌・講演論文集等の電子化、学会 IT に関連する

事項の整備，及びHPの充実と保守管理・運営等を実施した。

国際交流委員会

日中若手研究者交流事業の一環として，第10回JFPSフルードパワー国際シンポジウム福岡へ中国より1名招聘した。

国際シンポジウム実行委員会

現地視察・実行委員会等を適宜開催し，10月に第10回JFPS国際シンポジウム福岡をアクロス福岡と福岡工業大学にて開催した。

(3) 寄付金

一般寄付金振込額 ¥5,000,000 (SMC株式会社，平成29年2月20日)

(4) 会員の移動状況

会員の種別	平成29年4月1日	平成30年4月1日	差引増減	備考
正会員(注)	946名	924名	-22名	
学生会員	120名	109名	-11名	
賛助会員	129社 (278口)	130社 (278口)	+1社 (±0口)	

(注) 正会員の内訳：平成30年4月1日

名誉員14名，シニア員42名，ジュニア員180名，その他688名

報告 2 平成30年度事業計画の件

資料 2 平成30年度事業計画書 (案)

自 平成30年 4月 1日  
至 平成31年 3月31日

2-1. 事業計画

(1) 集会事業

事業名	行事名	期日	場所
総会	第37期通常総会	H30. 5. 25	東京 (機械振興会館)
講演会	平成30年春季 フルードパワーシステム講演会	H30. 5. 24 ~5. 25	東京 (機械振興会館)
	平成30年秋季 フルードパワーシステム講演会	H30. 10. 25 ~10. 26	京都 (京都教育文化センター)
研修会	フルードパワー道場13 「・・・・・・・・・・・・・・・・」	4回開催	東京近郊・他
	フルードパワーシステム特別研修会	4~5回開催	東京近郊・他
セミナー	春季講演会併設セミナー「フルードパワー における設計技術のトレンドー品質向上と最 適化を目指してー」	H30. 5. 24	東京 (機械振興会館)
	平成30年度オータムセミナー	H30. 9	東京近郊
	平成30年度ウインターセミナー	H31. 2	東京近郊
教育講座	入門者向き実習講座「油空圧技術」	H30. 6. 6~6. 8	大阪 (ホリテセンター関西)
	平成30年度特別教育講座 「・・・・・・・・・・・・・・・・」	H30. 8	東京 (機械振興会館)

(2) 研究委員会 (企画委員会, 基盤強化委員会)

- 1) OHC-Sim 特別研究委員会 (第 21 期)  
(委員長 田中 和博, 期間延長; 平成 30 年 4 月~平成 31 年 3 月) 3~4 回/年開催
- 2) IDCAE によるフルードパワーシステム設計に関する委員会  
(委員長 田中 和博, 期間延長; 平成 30 年 4 月~平成 31 年 3 月) 3~4 回/年開催
- 3) アクアドライブシステムの新たな構成機器の開発とその制御に関する研究委員会  
(委員長 鈴木 健児, 期間延長; 平成 30 年 4 月~平成 31 年 3 月) 3~4 回/年開催
- 4) 機能性流体フルードパワーシステムに関する研究委員会  
(委員長 中野 政身, 新設; 平成 30 年 4 月~平成 32 年 3 月) 3~4 回/年開催

(3) 学会誌・論文集

学会誌「フルードパワーシステム」を, 電子出版号を含めて年 7 号刊行する。  
「日本フルードパワーシステム学会論文集」を, 適宜 J-STAGE に掲載する。

(4) 出版物

講演会の論文集, セミナーのテキスト, 研究委員会の研究成果報告書などを出版する。

(5) 表彰

学会賞 (学術論文賞, 学術貢献賞, 技術開発賞, 技術功労賞, 最優秀講演賞), SMC 高田賞, 名誉員の推挙, 他団体の顕彰への推薦などの募集, 選考, 表彰を実施する。

- (6) 他学協会との共催，協賛  
「フルードパワーシステム講演会」，オータムセミナー・ウインターセミナー，その他企画事業について関連団体へ共催・協賛を積極的に要請する．同じく，関連団体よりの共催・協賛要請に適宜対応する．
- (7) 学会 IT 環境整備事業  
会員へのサービス向上のため IT 環境の整備，特に HP を逐次更新し，最新情報を担保するとともに，学会事務局のセキュリティレベルを確保する．
- (8) 国際交流事業  
中国との交流のための若手研究者を募集し，派遣する．ベトナムとの交流を推進する．海外からの国際交流奨学生を募集する．
- (9) 産・学共同研究事業  
日本フルードパワー工業会と共同し，関連情報の収集，テーマの設定，研究開発の概要などを検討する．
- (10) 学会設立 50 周年記念事業  
準備委員会を設置し，学会設立 50 周年記念事業実施のための準備を進める．

## 2-2. 会議及び各委員会の活動計画

- (1) 通常総会 第 37 期通常総会 (5 月 25 日開催予定)
- (2) 理事会 年 6 回開催 (委員長会議 (年 5 回) で理事会の議題調整・準備)
- (3) 各委員会
  - 庶務委員会：
    - 組織，定款・細則・諸規程の整備，渉外・人事などに関する方策の策定と実施 (適宜開催)
  - 会計委員会：
    - 財務の管理・運営 (適宜開催)，決算書・予算書等の作成，会計監査の実施 (年度末開催)
  - 編集委員会：
    - 会誌の特集企画立案及び編集 (年 6 回，その他分科会)
  - 企画委員会：
    - 講演会，講習会，セミナー等の集会事業の企画策定と実施，研究委員会等の研究調査事業の企画，運営 (年 5 回，その他分科会適宜開催)
  - 基盤強化委員会：
    - 学会会員増強，財務強化のための施策の企画立案と実施．特別研究委員会の研究調査事業の企画，運営．若手道場や FPS 特別研集会などの若手技術者の研修事業の企画と実施 (年 4 回)
  - 論文集委員会：
    - 論文集への投稿論文等の校閲の運営・管理 (適宜開催)
  - 出版委員会：
    - 会誌や論文集など他の委員会が所掌する出版物以外の出版に関する事業の企画立案及び編集 (適宜開催)
  - 表彰委員会：
    - 学会賞等の各賞の募集・選考・表彰，名誉員の推挙，他団体の顕彰への推薦 (適宜開催)
  - 情報システム委員会：
    - 情報の充実化策定と実施，学会誌・講演論文集等の電子化，学会 IT 関連整備，HP の充実化と管理・運営 (年 4 回開催)
  - 国際交流委員会：
    - 日中若手研究者交流事業を通じ，中国へ若手研究者を派遣する．また，中国で開催される日中共同ワークショップに論文を発表するとともに参加する．海外学会への使節団の派遣，海外からの国際交流奨学生の募集など国際交流促進の検討 (適宜開催)．
  - 国際シンポジウム実行委員会：
    - 第 11 回 JFPS フルードパワー国際シンポジウム函館 2020 の開催準備を進める． (適宜開催)

**資料3 平成30年度収支予算書**

平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	平成30年度
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
特定資産運用益	0
特定資産受取利息	0
受取会費	24,200,000
正会員会費収入	7,200,000
賛助会員会費収入	16,740,000
学生会員会費収入	260,000
受取参加料	7,850,000
春季・秋季講演会収入	4,100,000
オータム・ウィンターセミナー収入	700,000
FP道場収入	1,000,000
OHC-S特別教育講座収入	300,000
産学共同研究委員会収入	350,000
特別研修会収入	1,400,000
国際シンポジウム収入	0
国際交流事業収入	0
受取販売料	550,000
学会誌頒布収入	250,000
諸資料頒布及び著作権料収入	300,000
受取掲載料	300,000
論文掲載料収入	300,000
受取広告料	1,250,000
広告料収入	1,250,000
受取出展料	0
IFPEX展示収入	0
受取補助金等	0
国際シンポジウム	0
秋季講演会	0
受取寄付金	5,000,000
国際シンポジウム	0
その他	5,000,000
雑収益	50,000
普通預金利息	0
雑収益	50,000
<b>経常収益計</b>	<b>39,200,000</b>
(2) 経常費用	
会誌事業費	6,800,000
会議費	400,000
諸謝金費	500,000
印刷製本費	3,800,000
通信運搬費	500,000
編集業務委託費	1,400,000

科 目	平成 30 年度
企画事業費	4,000,000
会議費	600,000
春季・秋季講演会開催費	2,400,000
セミナー（オータム・ウィンター）	400,000
FP 道場開催費	300,000
電子化事業費	0
OHC-S 特別教育講座	300,000
研究委員会事業費	250,000
機能性流体 FPS 研究委員会	100,000
1DCAE による FPS 設計委員会	100,000
ADS の新たな構成機器と制御研究委員会	50,000
産学共同研究委員会事業費	200,000
OHC-sim 特別研究委員会	200,000
特別研修会事業費	400,000
FPS 特別研究会事業費	400,000
表彰事業費	300,000
表彰費	300,000
情報関連事業費	1,650,000
ラディックス(株)保守	200,000
IT 環境整備費	1,200,000
サーバー保守費	200,000
会議費, 運営費	50,000
国際交流事業費	800,000
国際交流事業費	800,000
論文集事業費	400,000
会議費	0
論文集公開経費（J-STAGE）	400,000
創立 50 周年事業費	100,000
会議費	100,000
国際シンポジウム開催費	700,000
国際シンポジウム開催費	0
準備費	700,000
管理費	23,600,000
給料手当	11,000,000
福利厚生費	1,600,000
会議費	1,000,000
旅費交通費	200,000
通信運搬費	1,200,000
什器備品費	1,500,000
消耗品費	700,000
賃貸料	3,540,000
諸謝金	600,000
支払手数料	40,000
他団体参加費	100,000
基盤強化委員会費	200,000
租税公課	0
退職給付費用	500,000
減価償却費	920,000
雑費	500,000
経常費用計	39,200,000

II. 決議事項

第1号議案 平成29年度決算の件

資料4 貸借対照表

平成30年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	24,848,742	20,328,592	4,520,150
立替金	5,116	0	5,116
前払費用	0	604,800	△ 604,800
流動資産合計	24,853,858	20,933,392	3,920,466
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給付引当預金	2,500,000	2,000,000	500,000
情報システム運営基金	5,000,000	5,000,000	0
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	7,586,511	0
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	11,253,505	0
産学共同研究基金預金	6,866,252	6,866,252	0
出版事業基金預金	2,574,574	2,574,574	0
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	5,000,000	0
特定資産合計	40,780,842	40,280,842	500,000
(2) その他固定資産			
ソフトウェア	2,187,675	2,937,735	△ 750,060
リース資産	165,888	331,776	△ 165,888
電話加入権	38,441	38,441	0
敷金	3,163,800	3,163,800	0
その他固定資産合計	5,555,804	6,471,752	△ 915,948
固定資産合計	46,336,646	46,752,594	△ 415,948
資産合計	71,190,504	67,685,986	3,504,518
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	46,440	40,095	6,345
前受金	0	5,069,000	△ 5,069,000
前受会費	16,296,000	15,766,000	530,000
預り金	257,703	91,100	166,603
仮受金	325,400	363,500	△ 38,100
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税等	0	306,900	△ 306,900
流動負債合計	16,995,543	21,706,595	△ 4,711,052
2. 固定負債			
リース債務	165,888	345,600	△ 179,712
退職給付引当金	3,515,874	2,895,980	619,894
固定負債合計	3,681,762	3,241,580	440,182
負債合計	20,677,305	24,948,175	△ 4,270,870
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 一般正味財産	50,513,199	42,737,811	7,775,388
(うち特定資産への充当額)	(38,280,842)	(38,280,842)	(0)
正味財産合計	50,513,199	42,737,811	7,775,388
負債及び正味財産合計	71,190,504	67,685,986	3,504,518

## 資料5 正味財産増減計算書

平成29年 4月 1日～平成30年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,726	9,318	△ 6,592
特定資産受取利息	2,726	9,318	△ 6,592
受取会費	24,484,709	20,716,000	3,768,709
正会員会費収入	7,608,709	5,980,000	1,628,709
賛助会員会費収入	16,620,000	14,450,000	2,170,000
学生会員会費収入	256,000	286,000	△ 30,000
受取参加料	14,366,519	7,931,000	6,435,519
春季・秋季講演会収入	1,886,000	3,522,000	△ 1,636,000
オータム・ウィンターセミナー収入	613,000	1,079,000	△ 466,000
FP道場収入	988,000	490,000	498,000
OHC-S特別教育講座収入	270,000	330,000	△ 60,000
産学共同研究委員会収入	600,000	630,000	△ 30,000
特別研修会収入	1,600,000	1,600,000	0
国際シンポジウム収入	8,409,519	0	8,409,519
国際交流事業収入	0	280,000	△ 280,000
受取販売料	672,071	888,523	△ 216,452
学会誌頒布収入	371,224	655,270	△ 284,046
諸資料頒布及び著作権料収入	300,847	233,253	67,594
受取掲載料	210,000	310,000	△ 100,000
論文掲載料収入	210,000	310,000	△ 100,000
受取広告料	1,010,448	1,461,672	△ 451,224
広告料収入	1,010,448	1,461,672	△ 451,224
受取出展料	108,000	0	108,000
IFPEX展示収入	108,000	0	108,000
受取補助金等	2,200,000	0	2,200,000
国際シンポジウム	2,000,000	0	2,000,000
秋季講演会	200,000	0	200,000
受取寄付金	10,300,000	5,000,000	5,300,000
国際シンポジウム	5,300,000	0	5,300,000
その他	5,000,000	5,000,000	0
雑収益	48,296	15,315	32,981
普通預金利息	1,436	615	821
雑収益	46,860	14,700	32,160
経常収益計	53,402,769	36,331,828	17,070,941
(2) 経常費用			
会誌事業費	6,712,172	7,198,921	△ 486,749
会議費	438,823	384,566	54,257
諸謝金費	466,500	477,000	△ 10,500
印刷製本費	3,788,144	4,458,154	△ 670,010
通信運搬費	671,212	486,586	184,626
編集業務委託費	1,347,493	1,392,615	△ 45,122
企画事業費	2,782,265	4,523,307	△ 1,741,042
会議費	651,051	745,014	△ 93,963
春季・秋季講演会開催費	1,083,381	2,661,951	△ 1,578,570
セミナー(オータム・ウィンター)	444,264	308,307	135,957
FP道場開催費	259,255	269,392	△ 10,137
電子化事業費	0	159,840	△ 159,840
OHC-S特別教育講座	344,314	378,803	△ 34,489

研究委員会事業費	474,868	474,014	854
機能性流体 FPS 融合	370,000	397,000	△ 27,000
1DCAE 特別研究会	104,868	77,014	27,854
産学共同研究委員会事業費	66,402	256,991	△ 190,589
OHC-sim 特別研究委員会	66,402	256,991	△ 190,589
特別研修会事業費	448,222	268,733	179,489
FPS 特別研究会事業費	448,222	268,733	179,489
表彰事業費	319,553	252,935	66,618
表彰費	319,553	252,935	66,618
情報関連事業費	1,641,112	1,159,978	481,134
ラディックス(株)保守	206,234	0	206,234
IT 環境整備費	1,228,608	1,116,180	112,428
サーバー保守費	170,753	0	170,753
会議費, 運営費	35,517	43,798	△ 8,281
国際交流事業費	606,964	1,075,250	△ 468,286
国際交流事業費	606,964	1,075,250	△ 468,286
論文集事業費	626,508	602,700	23,808
会議費	0	1,700	△ 1,700
論文集公開経費 (J-STAGE)	626,508	601,000	25,508
IFPEX 開催費	130,140	0	130,140
IFPEX 開催費	130,140	0	130,140
国際シンポジウム開催費	7,756,717	1,095,437	6,661,280
国際シンポジウム開催費	7,731,137	1,095,437	6,635,700
準備費	25,580	0	25,580
管理費	23,991,847	22,954,809	1,037,038
給料手当	10,842,232	9,377,793	1,464,439
福利厚生費	1,936,276	1,613,437	322,839
会議費	1,328,933	1,145,733	183,200
旅費交通費	97,890	374,606	△ 276,716
通信運搬費	612,207	1,211,981	△ 599,774
什器備品費	1,913,296	1,504,944	408,352
消耗品費	400,884	733,077	△ 332,193
賃貸料	3,531,804	3,531,804	0
諸謝金	675,028	706,117	△ 31,089
支払手数料	32,400	0	32,400
他団体参加費	205,040	204,167	873
基盤強化委員会費	212,121	232,987	△ 20,866
租税公課	0	320,650	△ 320,650
退職給付費用	619,894	546,722	73,172
減価償却費	915,948	915,948	0
雑費	667,894	534,843	133,051
経常費用計	45,556,770	39,863,075	5,693,695
評価損益等調整前当期経常増減額	7,845,999	△ 3,531,247	11,377,246
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	7,845,999	△ 3,531,247	11,377,246
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前一般正味財産増減額	7,845,999	△ 3,531,247	11,377,246
法人税, 住民税及び事業税	70,611	71,479	△ 868
当期一般正味財産増減額	7,775,388	△ 3,602,726	11,378,114
一般正味財産期首残高	42,737,811	46,340,537	△ 3,602,726
一般正味財産期末残高	50,513,199	42,737,811	7,775,388
II 正味財産期末残高	50,513,199	42,737,811	7,775,388

## 資料6 財産目録

平成30年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金 預金	手元保管	131,305		
		普通預金	24,717,437		
		新生銀行本店	242,681		
		横浜銀行新橋支店	15,145		
		芝信用金庫新橋支店	23,869		
		三菱UFJ銀行本店	62,353		
		三菱UFJ銀行虎ノ門支店	4,320		
		りそな銀行新橋支店	904,872		
		りそな銀行赤坂支店	420,350		
		みずほ銀行新橋支店	11,057,671		
		三井住友銀行日比谷支店	6,521,692		
		郵便貯金	5,278,484		
		郵便振替	186,000		
	立替金	機能性流体研究委員会	源泉所得税の立替え	5,116 5,116	
流動資産合計			24,853,858		
(固定資産) 特定資産	退職給付引当預金	定期預金 三井住友銀行日比谷支店	退職給付金の準備金	2,500,000	
	情報システム運営 基金	定期預金 新生銀行本店	情報システム運営の ための基金	5,000,000	
	国際交流事業運営 基金預金	定期預金  三菱東京UFJ銀行本店 横浜銀行新橋支店	国際交流事業運営の ための基金	4,554,865 3,031,646	
	国際シンポジウム 運営基金預金	定期預金  りそな銀行赤坂支店 芝信用金庫新橋支店	シンポジウム事業運 営のための基金	2,654,405 8,599,100	
	産学共同研究基金 預金	定期預金 りそな銀行赤坂支店 横浜銀行新橋支店	調査研究事業運営の ための基金	5,029,683 1,836,569	
	出版事業基金預金 三井住友銀行 みずほ銀行	定期預金 三井住友銀行日比谷支店 みずほ銀行新橋支店	会誌事業運営のため の基金	1,553,973 1,020,601	
	フルードパワー システム技術基金	定期預金  新生銀行本店	フルードパワーシス テム技術のための基金	5,000,000	
	その他 固定資産	ソフトウェア	東京都港区芝公園 三丁目5番22号	会員管理システム	2,187,675
		リース資産	同上	事務所使用のパソコン	165,888
		電話加入権	同上	事務所使用の電話	38,441
		敷金	同上	事務所の敷金	3,163,800
	固定資産合計			46,336,646	
	資産合計			71,190,504	

(流動負債)	未払金	堀井公認会計士事務所	平成 30 年 3 月分の税理士 顧問料	46,440
	前受会費	30 年度正会員	平成 30 年度の正会員会費	724,000
		31 年度正会員	平成 31 年度の正会員会費	12,000
		32 年度正会員	平成 32 年度の正会員会費	2,000
		学生会員	学生会員の受取会費前受分	18,000
		賛助会員	賛助会員の受取会費前受分	15,540,000
	預り金	給与	平成 30 年 1 月～3 月分の 源泉所得税	78,818
		報酬	平成 30 年 3 月分の源泉 所得税	18,757
		士業報酬	平成 30 年 1 月～3 月分 の源泉所得税	11,742
		社会保険料	平成 30 年 3 月分の社会 保険料	119,786
仮受金	住民税	平成 30 年 3 月分の住民税	28,600	
		平成 30 年度財団賞及び 参加料	325,400	
未払法人税等		平成 29 年度の法人住民税	70,000	
流動負債合計				16,995,543
(固定負債)	リース債務	東京都港区芝公園 三丁目 5 番 22 号	事務所使用のパソコン	165,888
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払 いに備えたもの	3,515,874
固定負債合計				3,681,762
負債合計				20,677,305
正味財産				50,513,199

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

職員の退職金支給に備えるため、退職金規程に基づく期末要支給額を計上している。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① リース資産

所有権移転外ファイナンス・リースに係るリース資産

リース期間定額法によっている。

##### ② ソフトウェア

定額法によっている。

#### (3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当預金	2,000,000	500,000	0	2,500,000
情報システム運営基金	5,000,000	0	0	5,000,000
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	0	0	7,586,511
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	0	0	11,253,505
産学共同研究基金預金	6,866,252	0	0	6,866,252
出版事業基金預金	2,574,574	0	0	2,574,574
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	40,280,842	500,000	0	40,780,842
合 計	40,280,842	500,000	0	40,780,842

### 3. 特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正 味財産からの 充当額)	(うち一般正 味財産からの 充当額)	(うち負債に 対応する額)
特定資産				
退職給付引当預金	2,500,000	(0)	(0)	(2,500,000)
情報システム運営基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
国際交流事業運営基金預金	7,586,511	(0)	(7,586,511)	(0)
国際シンポジウム運営基金預金	11,253,505	(0)	(11,253,505)	(0)
産学共同研究基金預金	6,866,252	(0)	(6,866,252)	(0)
出版事業基金預金	2,574,574	(0)	(2,574,574)	(0)
フルードパワーシステム技術基金	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)
小 計	40,780,842	(0)	(38,280,842)	(2,500,000)
合 計	40,780,842	(0)	(38,280,842)	(2,500,000)

### 4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
リース資産	829,440	663,552	165,888
ソフトウェア	3,750,300	1,562,625	2,187,675
合 計	4,579,740	2,226,177	2,353,563

5. 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高  
 補助金等の内訳並びに交付者，当期の増減額及び残高は，次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対 照表上 の記載 区分
コンベンション開催助成金	福岡観光コンベンションビューロー	0	1,000,000	1,000,000	0	—
第10回 JFPS フルードパワー 国際シンポジウム	NSK メカトロニクス	0	500,000	500,000	0	—
第10回 JFPS フルードパワー 国際シンポジウム	精密測定技術振興財団	0	500,000	500,000	0	—
青森市コンベンション開催事 業補助金	青森市	0	200,000	200,000	0	—
合 計		0	2,200,000	2,200,000	0	

### 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

特定資産の明細は，財務諸表に対する注記に記載しているため附属明細書での記載を省略している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,895,980	619,894	0	0	3,515,874

## 資料7 監査報告

### 監査報告

平成 30 年 4 月 18 日

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会  
会長 小山 紀 殿

一般社団法人 日本フルードパワーシステム学会

監事 佐藤 毅彦

監事 高岩 昌弘

監事 陸浦 淳二



私たち監事は、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの第 36 期事業年度の理事の職務執行状況を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

#### 1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、事務局において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、内訳表を含む正味財産増減計算書、財産目録、財務諸表に対する注記）及びその附属明細書について検討しました。

#### 2. 監査の結果

##### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく、示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

##### (2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

第2号議案 役員交代の件

資料8 平成30, 31年度理事及び監事候補

理 事	伊藤 和寿	芝浦工業大学 システム理工学部 教授	新任
	伊藤 和巳	KYB(株) 技術本部基盤技術研究所 所長	重任
	大場 孝一	油研工業(株) 取締役グローバル事業本部長	重任
	川上 幸男	芝浦工業大学 システム理工学部 教授	重任
	川嶋 健嗣	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 教授	新任
	酒井 直行	(株)ジェイテクト 自動車部品事業本部油圧システム技術部 部長	重任
	桜井 康雄	足利大学 工学部創生工学科機械工学コース 教授	重任
	佐藤 恭一	横浜国立大学 大学院工学研究院 教授	新任
	眞田 一志	横浜国立大学 大学院工学研究院 教授	重任
	嶋村 秀彦	川崎重工業(株) 精密機械カンパニー 執行役員	新任
	田中 豊	法政大学 デザイン工学部 システムデザイン工学科 教授	重任
	塚越 秀行	東京工業大学 大学院理工学研究科 准教授	重任
	釣賀 靖貴	日立建機(株) 研究・開発本部先行開発センター 部長	新任
	中野 政身	東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授	重任
	西股 健一	SMC(株) 技術本部筑波技術センター技術管理課 次長	重任
	藤田 壽憲	東京電機大学 工学部機械工学科機械コース 教授	重任
	村松 久己	沼津工業高等専門学校 機械工学科 教授	重任
	吉田 和弘	東京工業大学 科学技術創成研究院未来産業技術研究所 教授	新任
	吉田 伸実	(株)小松製作所 開発本部販売サービス資料センタ 所長	重任
吉満 俊拓	神奈川工科大学 創造工学部ロボットメカトロニクス学科 准教授	重任	
監 事	井口 謙彦	CKD(株) 機器事業統括部 NB開発部 副部長	新任
	佐藤 毅彦	東京計器(株) 油圧制御システムカンパニー技術部 部長	重任
	高岩 昌弘	徳島大学 大学院総合システム工学 教授	重任